

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年5月4日+A2:G13

事業所名 きらら守口

はい、いいえの数字※回答者数 ※合計が8に満たない所は未回答あるため。 <職員数>8名 <回答者数>8名 回答率100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	(1)利用人数が多い日は机を片付けスペースを作って活動したり等工夫している。(2)高学年の児童がボール投げをするとうるさいと感じる時がある。⇒物理的制約があるが今後の検討課題とする。	
	2	職員の配置数は適切である	8	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1	(1)何をやるスペースなのかイラスト等で表示している。バリアフリー化ではないが、段差のある場所で支援が必要な児童に対しては介助できている。(2)入口がもう少し広く段差がなくスロープがあれば車いすが入りやすいと感じている。⇒物理的制約があるが今後の検討課題とする。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	児童が登所前降所後にに館内清掃をしっかりと行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2		ミーティング等で情報交換・共有を行っているが相互に伝え漏れもあるので今後の対策が必要。一部職員に偏っている。⇒常勤職員/非常勤職員間の疎通については今後一層の工夫を行っていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	(H30年度分からHPで公開している)	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	6		「どちらともいえない5」。外部からの評価を行っていない。⇒今後の検討課題とする。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0		痙攣発作、虐待の研修は実施。今後は内容・回数とも増やし、質の向上を目指したい。会議内容等を業務開始前に報告(欠席者)にしている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0		全職員が内容全てを把握しているとはいえないところがある(のが実態)。⇒全職員がサービス計画内容を把握し利用者支援を行うよう事業所として徹底する。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	遊びの中に取り入れている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	1		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		何人かのチームで考えて色々な意見を出して考えた方がいい。⇒常勤職員/非常勤職員間の疎通については今後一層の工夫を行っていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	グループ支援が重ならないよう工夫している。	何人かのチームで考えて色々な意見を出して考えた方がいい。⇒常勤職員/非常勤職員間の疎通については今後一層の工夫を行っていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8	0	適性に応じて(その日の予定が難しいようなら)変更して支援を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	始業前に打合せがあり前日の様子も伝えあっている。	始業前ミーティングで様々な確認・指示があるが非常勤職員(昼前後始業)の中には「確認・指示等」の打合せなく支援を行うケースもある(利用者降所後の夕刻から夜にかけての時間帯も退社で不在)ため「書面申し送り等」での徹底が必要。毎日行うことができていないため日勤シフト表を見て確認している。たまに知らなかった情報がある。⇒常勤職員/非常勤職員間の疎通については今後一層の工夫を行っていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3		(1)学校がある平日は翌日朝に振り返り・打ち合わせ(MTG)を実施できているが、学校が休みの日で朝から開所している日については利用者送迎対応(早朝/夕方～夜)や職員の勤務体制の問題がありMTGができないことが多い。今後の改善が必要。(2)職員間連絡ツールが活用できればいいと感じている。(3)改善が必要。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1		記録はとれているがその後の支援に繋がらされているかどうかは疑問な節もある。今後の(更なる)改善が必要。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	3	該当利用者いない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	3	該当利用者いない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0		交流があればいいと思う。⇒今後の検討課題。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	4		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	送迎時・面談時や電話などで保護者が相談しやすい事業所であると思う。親身になって関わっている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	2		今後の課題。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	5		今後の課題。父母の会、交流会、昼食会等実施してもいいのではないかなと思う。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	実施・対応できている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0		ミスが何件かあるため改善が必要。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	児童に対しては絵カード・視覚カードを使い見てわかるように伝えている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3		商店街の祭りや催事に参加してはどうか。 ⇒今後の検討課題とする。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	各種マニュアルをファイルしてあるので普段からしっかり目を通してしている。	訓練は定期的に行っていない。避難訓練を定期的に行う必要があると思う。⇒今後の検討課題とする。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	3		定期的に行っていない。避難訓練を定期的に行う必要があると思う。⇒今後の検討課題とする。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0	保護者や関連施設・事業者と入所時やその後は連絡帳や送迎面談時等にしっかり確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	該当利用者いない。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	ファイルがあり定期的に見ている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	実施している。	新しい職員が増えているので毎年の継続実施が必要。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。